

# 木のすまい新聞

【シリーズあれから1年半】



## 木のすまい仕様の家 「地元産にこだわり 健康になる家」



も気持ちが良いです。漆喰の壁のお蔭か、湿気がこもらず、浴室にもカビが生えません。窓の位置にもこだわって建ててもらったので、夕方まで日差しが入ってきて家中が明るいのも嬉しいです。木の床はキズが付きやすいですが、それも木の家の醍醐味ですよね。それが全て家族の思い出になつていくと思うと全く気になりませんし、そんなことよりも家族が健康に暮らすという願いが叶つていて嬉しいです。冬場になると、シーズン中ずっと風邪をひいてるようなこれまででしたが、この家に引っ越してきてからは引きにくくなつたのも実感するところです。お庭に小さなながらも菜園を作り、お家も年中素足で生活でき、自然と暮らすとの出来る健康なこの家に出会えて本当に良かつたです。』とおっしゃつていただきました。これからも、どうぞ幸せにお過ごし下さい。

今月は、1年前にお引渡しをさせていただいたA様より、感想をいたしましたのでご紹介いたします。

『子どもが生まれて、食べ物などに気を配るようになり、体に良い食品を選んでいると、家も自然素材がいいと思うようになったんです。そう簡単には変えられない部分ですよね。それで、当初から兵庫県産にこだわり、木材と瓦は地元産でお願いしました。それでも、塗喰で仕上げてもらい、とて



自然と呼応する住まい。

3・11以降、住まいの関連で目立つのは「電化」へのいつそうの流れであります。HEMS（ヘムス）であり、蓄電池であり、太陽光発電であり、それらを取り入れた「スマートハウス」であつたりと。電源こそ原発頼みから太陽光などの光発電に変わったものの、「オール電化」であるのは間違いないません。「スマートハウス」の売りの一つは、エアコンを遠隔操作して、例えば寒い日に家に帰ったときに家が暖まっているという具合。全く内容は異なるが、昼間の太陽熱を床下コンクリートに蓄熱させて、同様な効果を得ているローテクな技術もあります。暑いほど暖かくはないけれど、寒くはない、そんな暖房。何も蓄電池だけが蓄エネルギーとは限らないのです。

「スマートハウス」は家庭内のエネルギー制御の方法として評価はできるが、それを導入したからといって、いい家になるとはいません。住まいの設計の良し悪しを単純にそれだけでは決められないからです。単にスイッチのON、OFFだけの間欠的なやり方よりも、窓越しに感じる日差しの強さで春を感じたり、四季折々の自然と呼応しながら住まうこととに歓びを感じる生活をもっと大切にしたいと思います。

ひょうご木のすまい協議会  
会長 三渡 圭介

### 【兵庫県庁林務課からのお知らせ】

兵庫県の木造住宅ローンのご案内  
—あなたの木の住まいづくりを応援します—

#### 【融資制度の概要】

融資利率1.2%固定(平成24年度上半期)

#### ●新築・増改築

最高融資額: 2,700万円(返済期間25年以内)  
ただし、県産木材を60%以上使用し、長期優良住宅の認定を受けている場合は返済期間は35年以内に延長可能。

なお、26年目以降の利率は2.2%になります。

#### ●リフォーム

最高融資額: 900万円(返済期間10年以内)  
詳しくは下記のホームページをご覧下さい。

兵庫県産木材利用

検索



### 小冊子 「キノコトイエノコト ひょうご」

「ひょうごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されております。ひょうご木のすまい協議会メンバーの紹介の「頼れる工務店、見てある記」では、より良くひょうご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

●小冊子「キノコトイエノコト」  
ご希望の方は事務局まで～  
送り先を事務局までお知らせ下さい。



※バックナンバーもございます。  
数に限りがありますので、ご希望の方はお早めにお申ください。

